

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査

小学校第5学年 社会 調査票

注意

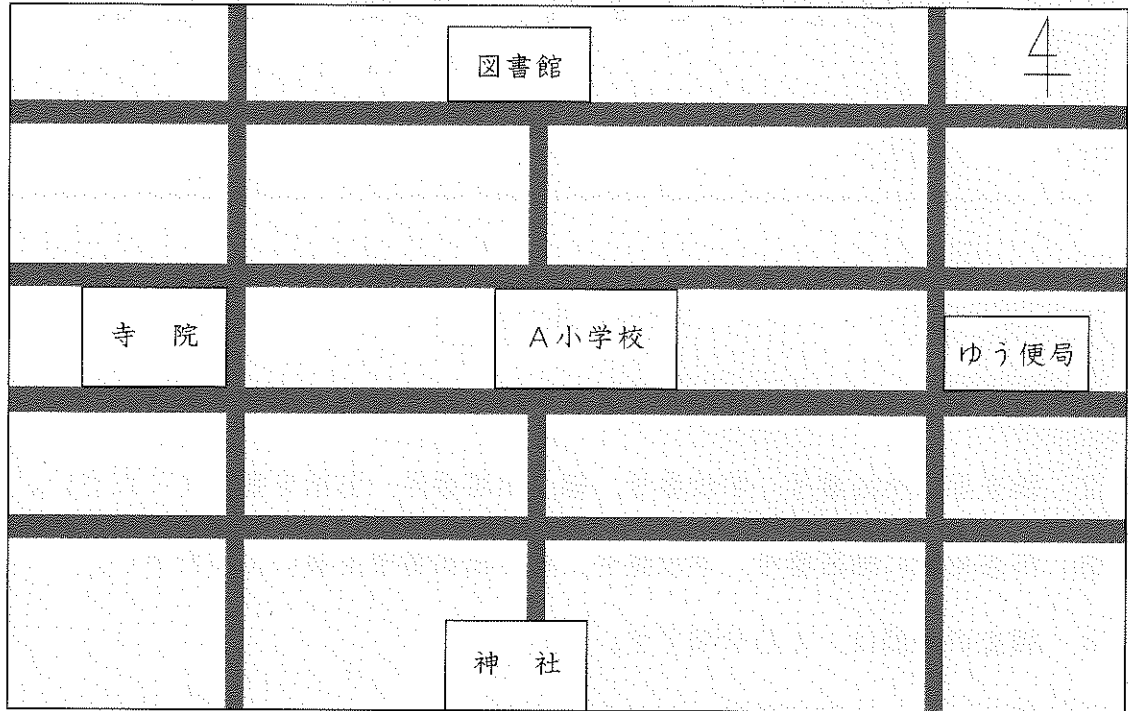
- 1 先生から「始め」の合図があるまでは、中を開けないでください。
- 2 調査票に地区番号、学校番号、組、出席番号、名前を書いてください。
- 3 解答用紙に地区番号、学校番号、組、出席番号を書いてください。
- 4 調査の時間は、40分間です。
- 5 答えは、全て解答用紙に記入してください。
- 6 終わったら、見直しましょう。
- 7 先生から「終わり」の合図があったら、書くのをやめてください。

地区番号	学校番号	組	出席番号	名 前

1 ひとみさんの学級では、自分たちが通うA小学校の周りど、A小学校があるB市の様子について学習しています。あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

(1) 次の地図【A小学校の周り】の中で、A小学校から見て東にあるものとして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【A小学校の周り】

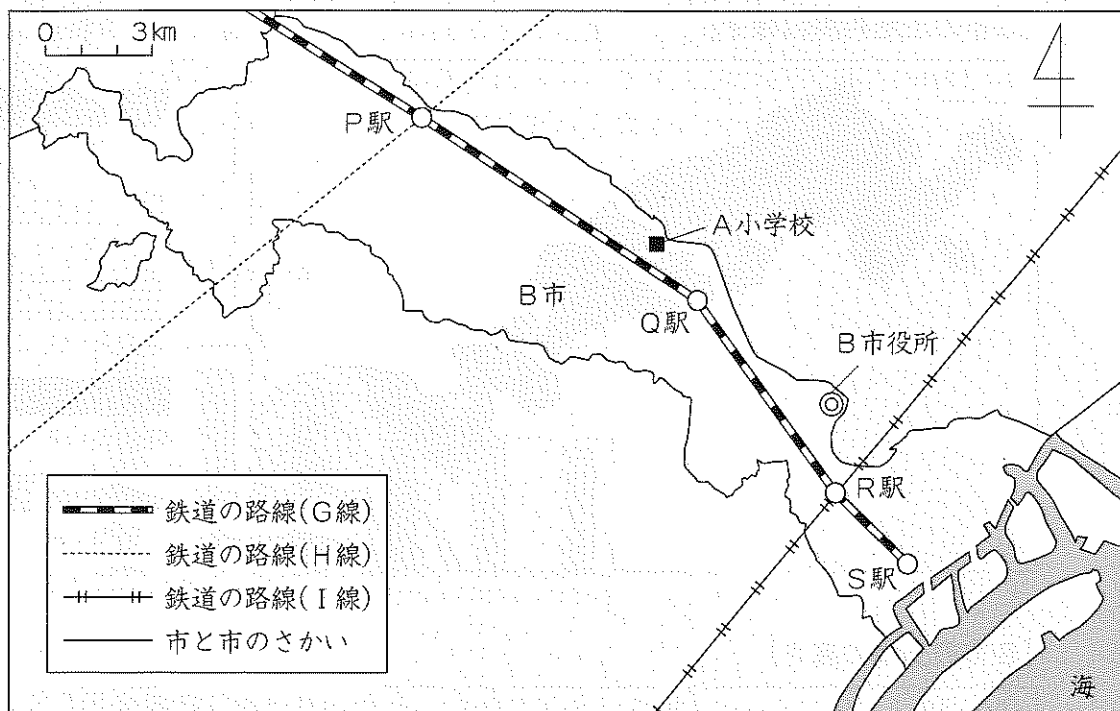


- ア 寺院
- イ ゆう便局
- ウ 神社
- エ 図書館

【観察・資料活用の技能】①

(2) 次の地図【B市の交通の様子】から分かることとして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【B市の交通の様子】

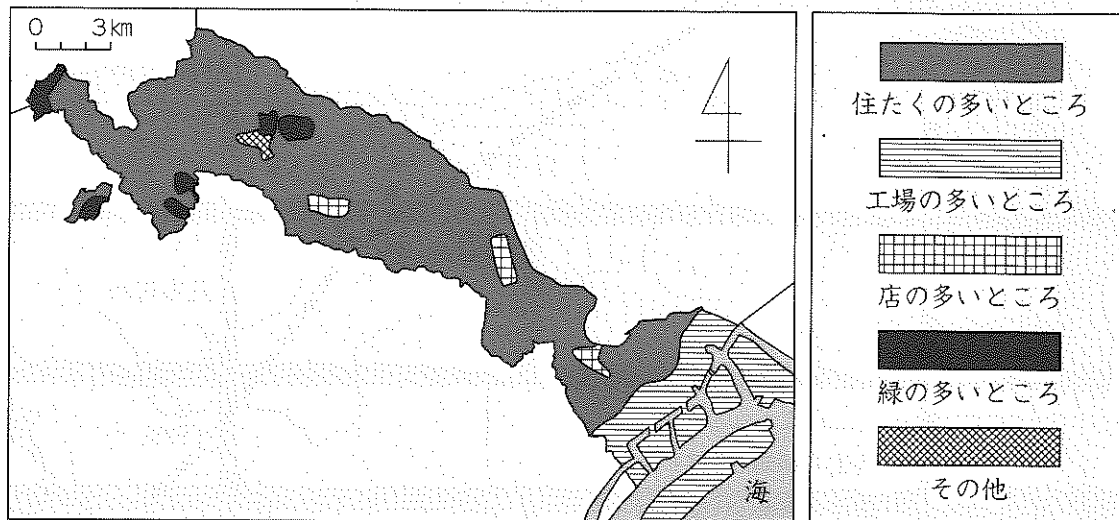


- ア P駅で、G線からH線に乗りかえることができる。
- イ Q駅は、A小学校から見てもB市役所から見ても同じ方角にある。
- ウ R駅は、4つの駅の中で最もA小学校の近くにある。
- エ S駅は、4つの駅の中で最も海からはなれている。

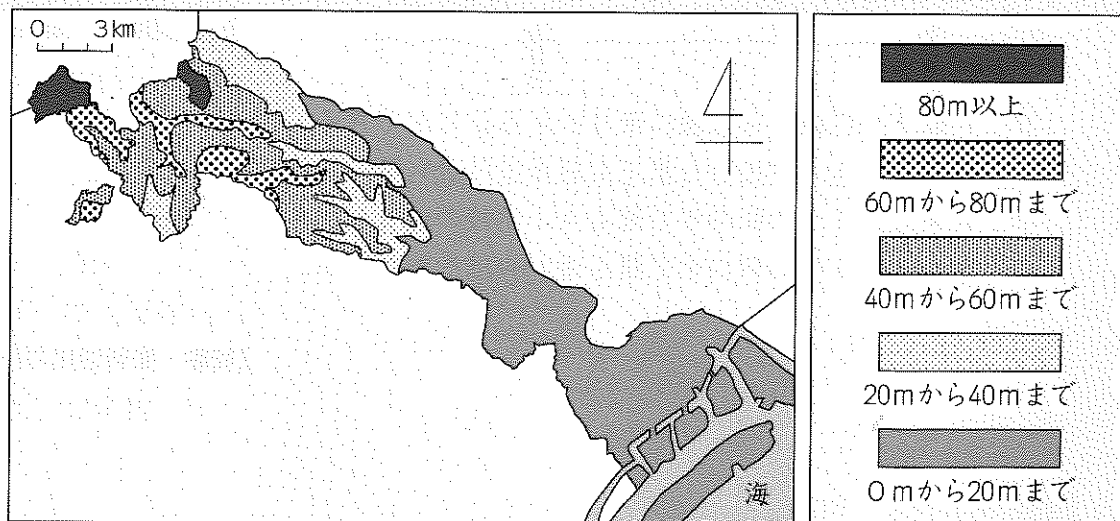
【観察・資料活用の技能】②

(3) ひとみさんは、次の地図【B市の土地利用の様子】と下の地図【B市の土地の高さ】からB市の様子についてまとめています。ひとみさんのまとめたこととして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【B市の土地利用の様子】



【B市の土地の高さ】



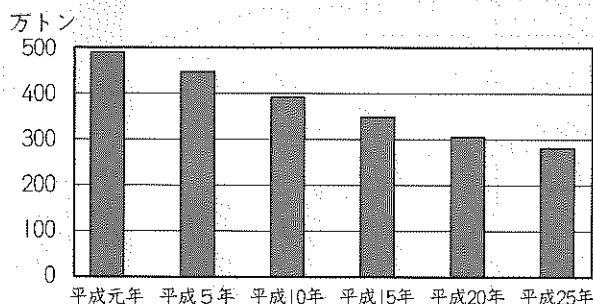
- ア 工場の多いところは、海からはなれたところに多く、土地の高さが0mから20mまでのところに広がっている。
- イ 緑の多いところは、海に近いところに多く、土地の高さが0mから20mまでのところに広がっている。
- ウ 工場の多いところ、住たくの多いところ、緑の多いところは、ほぼ同じ広さであり、土地の高さとの関係はない。
- エ 住たくの多いところは、最も広く、土地の高さが80m以上のところにも0mから20mまでのところにも広がっている。

【観察・資料活用の技能】③

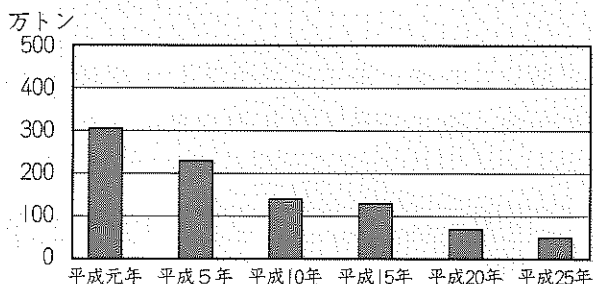
2 まきさんの学級では、東京都のごみのしよ理や資げんの再利用の様子について調べています。あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

(1) まきさんの学級では、次のグラフ【23区全体のごみの量】と下のグラフ【23区全体のごみの量のうち、うめ立てをした量】をもとに、23区全体でしゅう集されたごみの量とうめ立てをした量を比べています。2つのグラフから読み取ったこととして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【23区全体のごみの量】



【23区全体のごみの量のうち、うめ立てをした量】

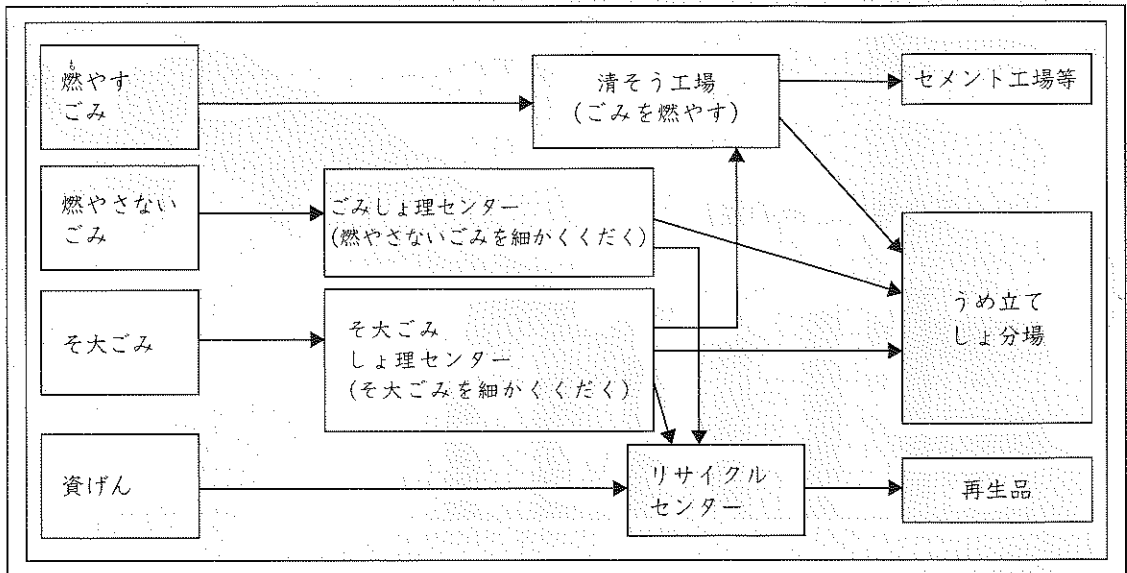


- ア 23区全体のごみの量とうめ立てをした量は、どちらも平成元年から平成25年まで増え続けている。
- イ 23区全体のごみの量とうめ立てをした量は、いずれの年も23区全体のごみの量よりうめ立てをした量の方が多い。
- ウ 23区全体のごみの量とうめ立てをした量は、どちらも平成元年は300万トンよりも多いが、平成25年は、うめ立てをした量が100万トンよりも少ない。
- エ 23区全体のごみの量とうめ立てをした量は、どちらも平成25年の量が平成元年の量の半分以下に減っている。

【観察・資料活用の技能】④

- (2) まきさんはごみのゆくえについて調べ、次の図【ごみと資げんの流れ】にまとめました。【ごみと資げんの流れ】から分かることとして最もふさわしいものを、下のアからエまでのの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【ごみと資げんの流れ】

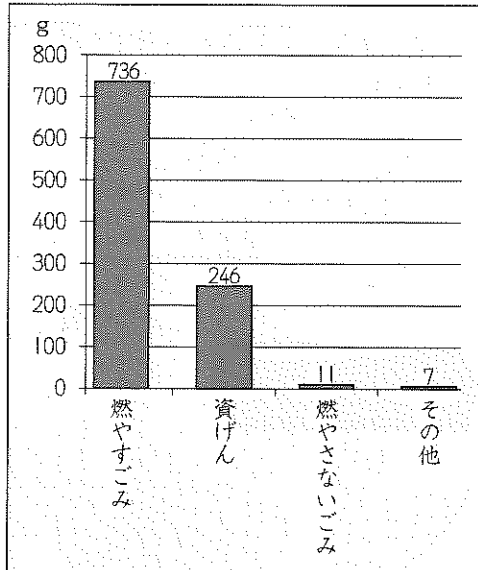


- ア 燃やすごみは、清そう工場に運ばれ、細かくくだかれたそ大ごみとともに燃やされている。
- イ 燃やすごみは、清そう工場で燃やした後、全てうめ立てしよ分場へ運ばれる。
- ウ そ大ごみは、細かくくだかれた後、全てリサイクルセンターとうめ立てしよ分場へ運ばれ、しよ理される。
- エ 燃やさないごみは、細かくくだかれた後、全てうめ立てしよ分場へ運ばれる。

【観察・資料活用の技能】⑤

(3) まきさんの学級では、次のグラフ【A区民一人が出す燃やすごみを1kgとしたときの中身】と次の資料【うめ立てしよ分場の人の話】をもとに、うめ立てしよ分場について、どのような問題点があるかを話し合いました。その後まきさんは、問題点に対して自分たちにできることを考え、下の【ノート】にまとめました。【ノート】の(①)と(②)に当てはまるものの組み合わせとして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【A区民一人が出す燃やすごみを1kgとしたときの中身】



【うめ立てしよ分場の人の話】

現在使っている「新海面しよ分場」は、平成10年からうめ立てが始まりました。このしよ分場は、東京港につくることができる最後のうめ立てしよ分場です。このしよ分場ができるだけ長く使えるように、これまで清そう工場では、^{しょう}焼きゃくろの性能を上げたり、都民一人一人がごみと資げんを分別し、ごみとして出す量を減らしたりするなど、さまざまな人々が協力してきました。そのおかげで、つくられたときは30年ほどでいっぱいになると予想したこのしよ分場は、現在あと50年ほどは使えるのではないかと考えています。

【ノート】

わたしは、(①)ことが分かった。これからは(②)と思う。

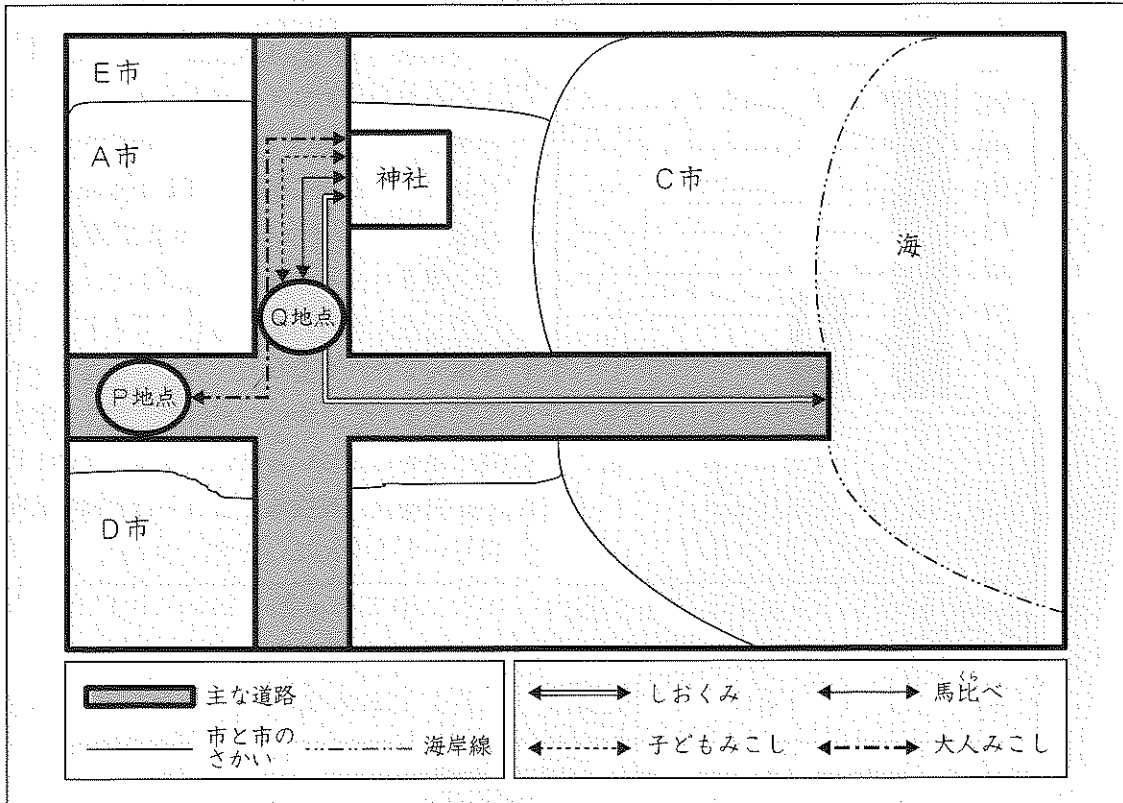
	①	②
ア	うめ立てしよ分場は、あと50年使えるが、わたしたちのごみの分別は、まだじゅうぶんではない	燃やさないごみも燃やせるよう、 ^{しょう} 焼きゃくろをよりよいものにしてもらい、うめ立てるかさを減らしていけばよい
イ	うめ立てしよ分場は、あと50年使えることや、わたしたちが家から出す燃やすごみの中身は、全て燃やすごみになっている	全ての種類のごみや資げんを1つのふくろに入れて出そう
ウ	うめ立てしよ分場は、分別をじゅうぶんに行っても、あと30年しか使えない	正しくごみを分別すれば、もっとごみを減らすことができるので、ごみの分別をしっかりと行おう
エ	うめ立てしよ分場は、あと50年使えるが、わたしたちのごみの分別は、まだじゅうぶんではない	今まで以上に正しくごみを分別したり、ごみを減らしたりすることについて、家の人と協力して取り組んでいこう

【社会的な思考・判断・表現】⑥

3 たかはるくんの学級では、自分たちの住むA市のB祭りについて調べています。あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

(1) たかはるくんは、次の資料【A市とその周りの地いき】と下の資料【B祭りの主な行事】からB祭りについて調べています。たかはるくんが2つの資料から読み取ったこととして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【A市とその周りの地いき】



【B祭りの主な行事】 () 内の日付は、その行事が行われる月日を示す。

<p>しおくみ (4月30日)</p> <p>海上で、B祭りのおはらいに使う海水をくむ。</p>	<p>馬比べ (5月3日)</p> <p>6頭の馬が、さまざまなかざりをつけて、世話をする人に引かれて歩く。</p>	<p>子どもみこし (5月4日)</p> <p>地いきの子どもが、みこしをかついでねり歩く。</p>	<p>大人みこし (5月5日)</p> <p>地いきの大人がみこしをかつぎ、大きな和だいことともにねり歩く。</p>
--	--	--	--

- ア 馬比べは、神社とQ地点との間で行い、6頭の馬が全力で競走する。
- イ 子どもみこしは、馬比べの次の日に行い、神社からP地点までねり歩く。
- ウ しおくみは、C市から海に出て、B祭りのおはらいに使う海水をくむ。
- エ 大人みこしは、B祭りの初日に行い、神社からD市内までねり歩く。

【観察・資料活用の技能】⑦

- (2) たかはるくんは、B祭りの歴史^{れきし}について次の資料【Fさんの話】をもとにして分かったことを、下の年表【B祭りの歴史】にまとめています。資料をもとに、年表の①から③までに入るものの組み合わせとして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【Fさんの話】

B祭りは、この地いきで昔から行われてきた祭りです。およそ650年前に書かれた本には、B祭りが行われたという記録が残っています。

今から74年前、戦争がはげしくなったときにB祭りは一度中止になりましたが、次の年には再開されています。

戦争が終わった後、まず古くなった道具を作り直しました。そして、今から34年前には、大人みこしが出るときに使う和だいを新しいものにしました。当時、この和だいは日本で一番大きな和だいこということで話題になりました。最近では、地いきの人々の考え方や生活のしかたも変わってきたため、B祭りも少しずつやり方を変えています。例えば、今から5年前には馬比べを行う場所を変えたり、今から2年前には大人みこしを通るきよりを変えたりしました。

【B祭りの歴史】

いつごろ	内 容
およそ 650年前	このころには、B祭りが行われていた。 (このころ書かれた本に、B祭りが行われたという記録がある。)
74年前	戦争がはげしくなり、B祭りが中止される。
73年前	①
34年前	②
5年前	③
2年前	大人みこしを通るきよりを変える。

	①	②	③
ア	大人みこしが出るときに使う和だいを新しいものにします。	戦争で中止となったB祭りが再開される。	馬比べを行う場所を変える。
イ	戦争で中止となったB祭りが再開される。	大人みこしが出るときに使う和だいを新しいものにします。	馬比べを行う場所を変える。
ウ	馬比べを行う場所を変える。	大人みこしが出るときに使う和だいを新しいものにします。	戦争で中止となったB祭りが再開される。
エ	戦争で中止となったB祭りが再開される。	馬比べを行う場所を変える。	大人みこしが出るときに使う和だいを新しいものにします。

【観察・資料活用の技能】⑧

- (3) たかはるくんは、A市に住んでいるGさんとHさんに、B祭りについてどのように考えているか、インタビューをしました。次の資料【Gさんの話】と、下の資料【Hさんの話】をもとに、A市の人々の願いについてたかはるくんがまとめたこととして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【Gさんの話】

わたしは、わかいころから今まで、40年近く毎年B祭りの準備を手伝っています。B祭りは4月末から行われる祭りですが、6月にはもうよく年のお祭りに向けた準備を始めています。ふだんはちがう仕事をしているので、仕事が終わった後など、時間を作ってB祭りの準備を進めています。毎年、B祭りが楽しみで、待ちきれない気持ちで準備を進めています。

B祭りの準備には、Hさんをはじめとする地いきに住むわかい人たちがおおぜい関わってくれています。Hさんたちと相談して新しいアイデアを取り入れたり、これまでのくふうを伝えたりしています。これからも地いきのわかい人たちがB祭りの準備に楽しんで参加し、よりよい形に変えながら、B祭りを受けついでいってほしいと思います。

【Hさんの話】

わたしは小学生、中学生のころ、B祭りに参加していました。あれから10年近くがたち、今ではGさんにやり方を教わりながら、B祭りの準備を手伝っています。

B祭りの準備を大変に思ったことはありません。よりよい祭りにするためのアイデアが取り入れられることもあり、楽しいから続けられるのだと思います。今考えているのは、もっと多くの観光客にA市をおとずれてもらい、A市に住む人々とともにB祭りを見て楽しんでもらうためのくふうです。

これからもGさんにさまざまなことを教わりながら、新しいことも取り入れ、B祭りをよりよいものにしていきたいと思っています。

ア Gさんは、観光客がもっとA市をおとずれるように、観光客にB祭りの準備を手伝ってもらおうと考えている。

イ GさんもHさんも、昔からのやり方を変えずに伝統を受けついでいくため、さまざまな人たちにB祭りを楽しんでほしいと考えている。

ウ GさんもHさんも、B祭りをよりよいものにするため、よく年のB祭りに向けて、B祭りが始まる6月には、次の年の準備を始めたいと考えている。

エ GさんもHさんも、B祭りをよりよいものにしていくため、多くの人がB祭りに参加し、その楽しさについて実感してほしいと考えている。

4 みはるさんの学級では、地いきにあるAスーパーマーケットの様子について調べています。あとの(1)と(2)の問題に答えましょう。

- (1) みはるさんの学級は、Aスーパーマーケットを見学しています。みはるさんは、Aスーパーマーケットの「お客様からの意見コーナー」に、いろいろなお客様からの意見と、Aスーパーマーケットからの返事がはり出されていることに気付きました。次の資料【Aスーパーマーケットからの返事】に書かれているくふうにつながる「お客様からの意見」として最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【Aスーパーマーケットからの返事】

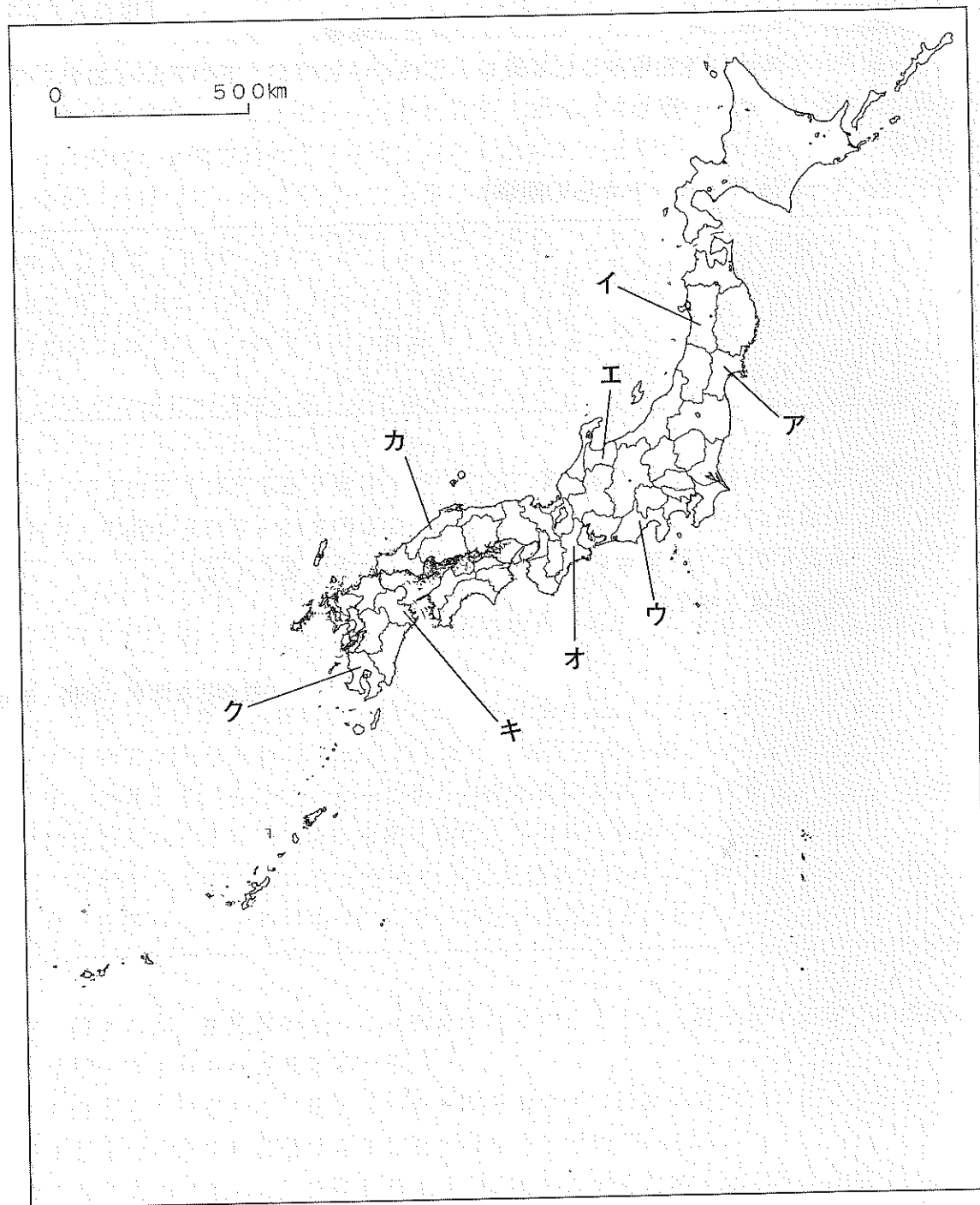
ご意見ありがとうございます。こちらについては、昨年12月24日からサービスカウンターでお売りしています。ふだん、店内には出しておりませんが、サービスカウンターまたは近くの店員におたずねいただければお出しします。これからも、どうぞよろしくお願ひします。

- ア ビニールがさを売り場に置いて、いつでも買えるようにしてほしい。
イ ね引きのシールは、分かりやすく大きなものをはってほしい。
ウ 会計が終わった品物を、ふくろづめする台まで運んでほしい。
エ 自転車置き場を広くしてほしい。

【社会的な思考・判断・表現】⑩

(2) みはるさんの学級では、Aスーパーマーケットに見学に行き、売っている品物の産地について調べ、白地図にまとめることになりました。①と②の県の正しい位置を、下の地図のAからクまでの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えましょう。

- ① 大分県 ② 秋田県

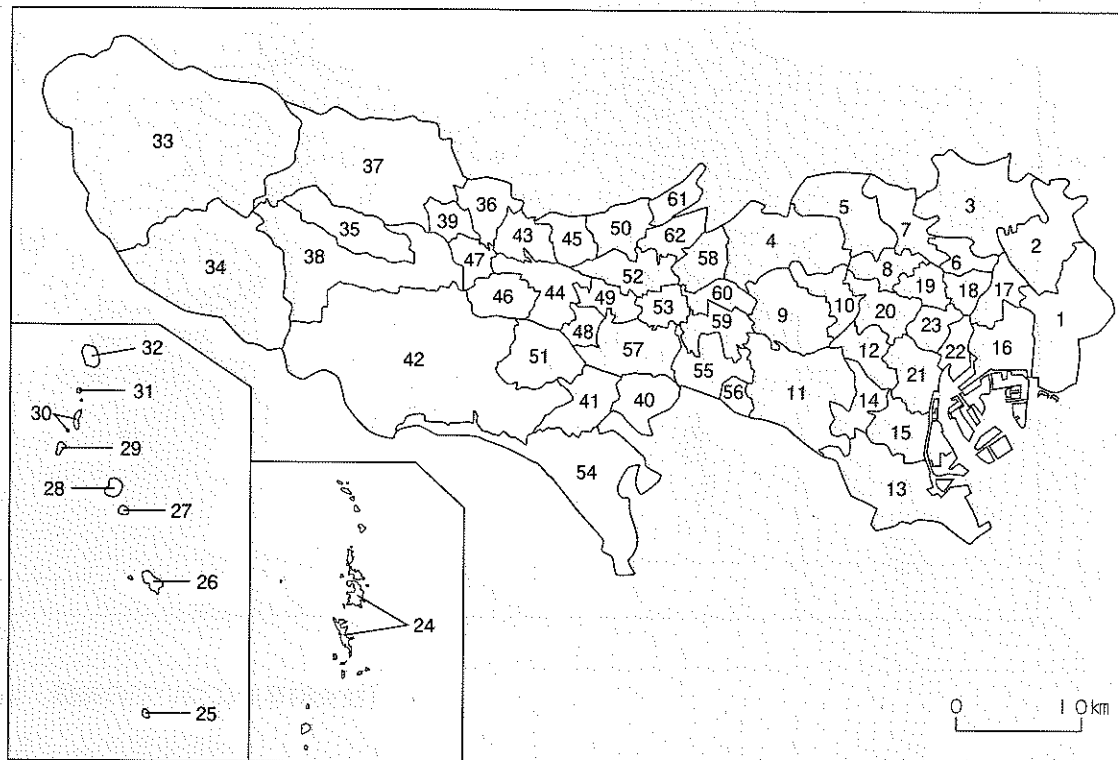


【社会的事象についての知識・理解】⑪

5 はるきくんの学級では、東京都の様子について学習しています。あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

(1) あなたの通っている学校がある区市町村の位置として最もふさわしいものを、次の地図【東京都の区市町村】の1から62までのの中から1つ選び、解答用紙にある、地図【東京都の区市町村】の番号に○を付けましょう。

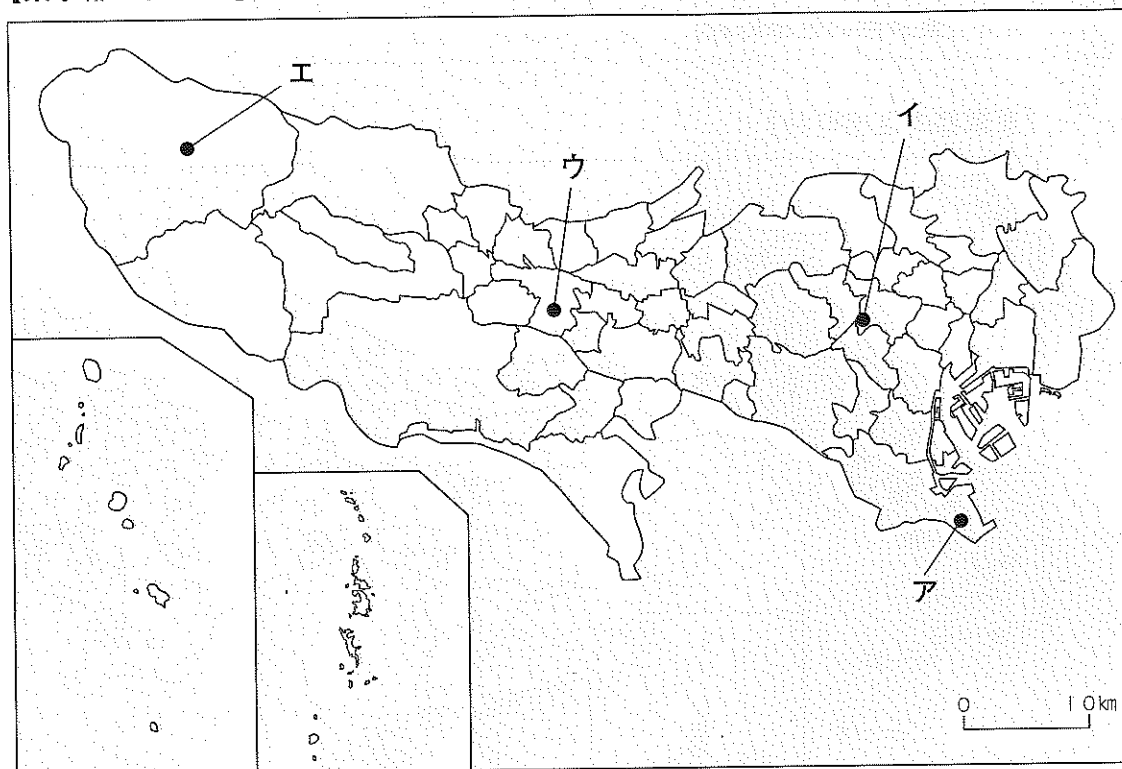
【東京都の区市町村】



【社会的事象についての知識・理解】 ⑫

(2) はるきくんは、東京都の特色ある地いきについて調べ、次の地図【東京都の白地図】にまとめています。東京都庁の位置として最もふさわしいものを、地図のAからEまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

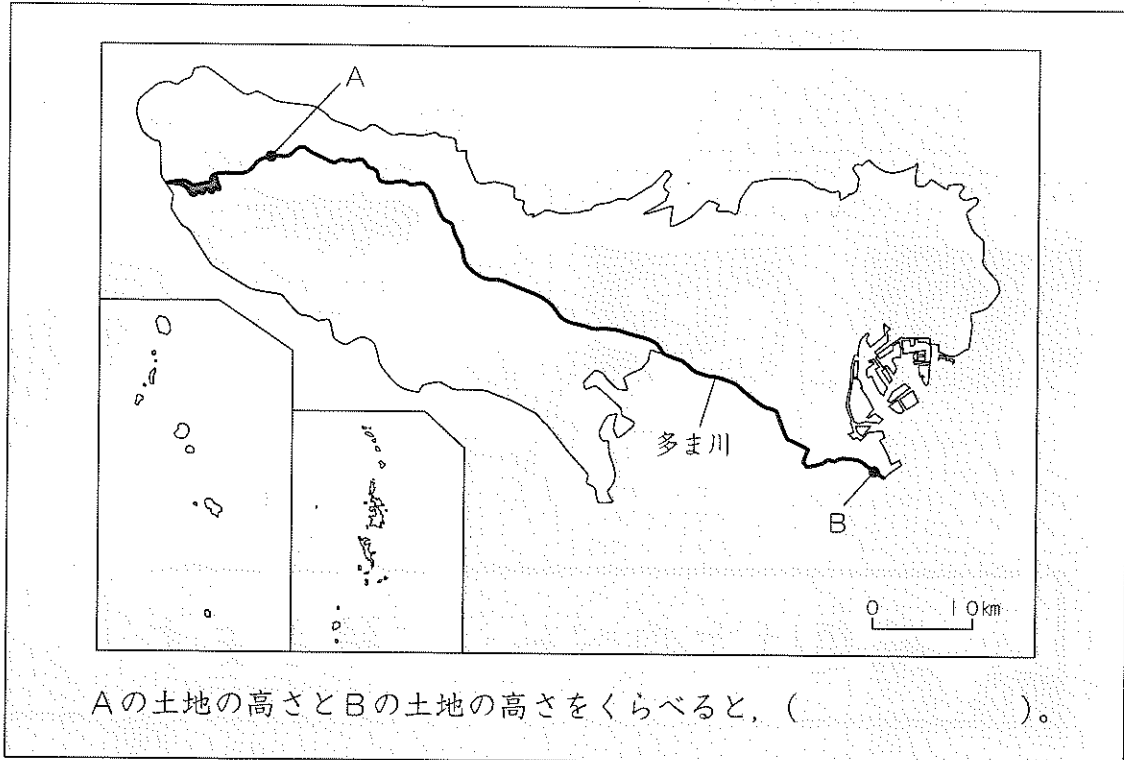
【東京都の白地図】



【社会的事象についての知識・理解】 ⑬

- (3) はるきくんは、東京都の土地の高さと多ま川の様子について調べ、分かったことを、次の資料【はるきくんのノート】にまとめました。資料の()に当てはまる言葉として最もふさわしいものを、下のアからウまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【はるきくんのノート】



- ア Aの方が高い
- イ Aの方が低い
- ウ AとBの高さは同じ

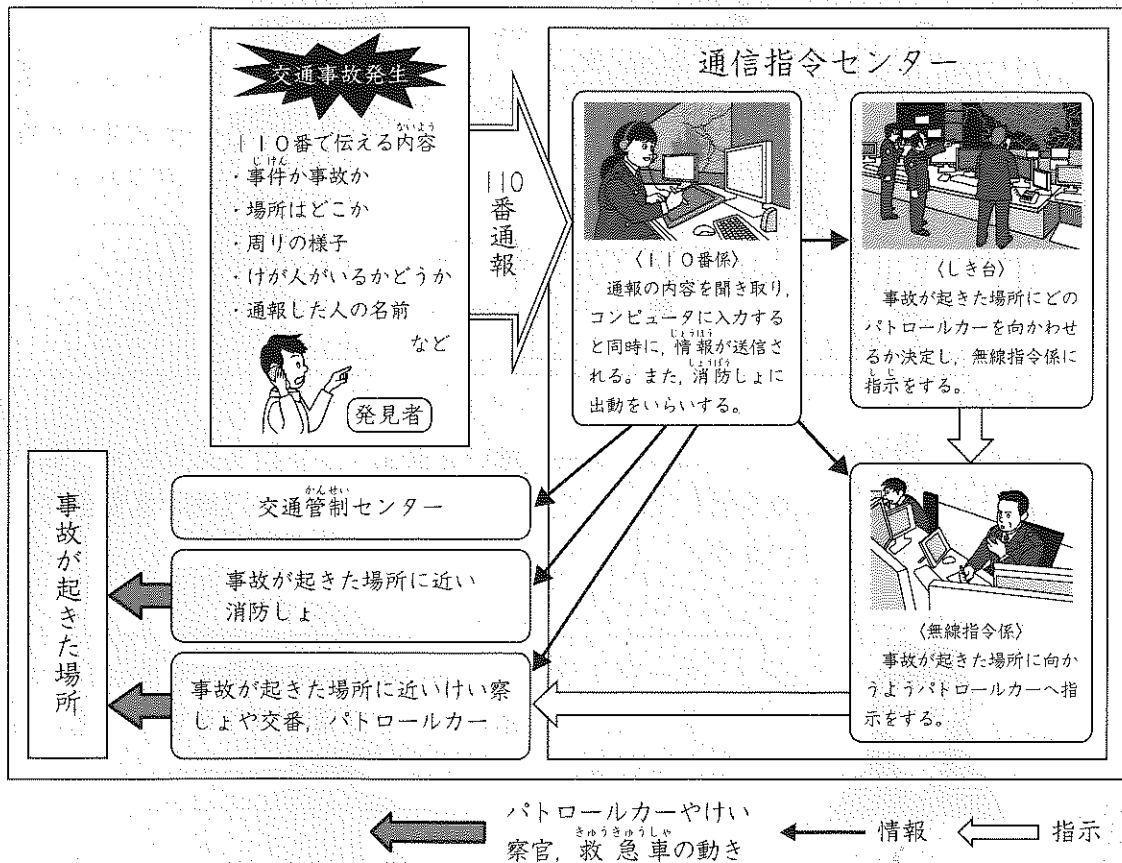
【社会的事象についての知識・理解】 ⑭

問題は次のページに続きます。

6 かよこさんの学級では、自分たちの住む地いきの安全を守る仕事について調べています。あとの(1)と(2)の問題に答えましょう。

(1) かよこさんは、自分たちの住む地いきで交通事故が起きたときに、だれがどのような働きをしているのかについて調べています。次の図【110番通報のしくみ】から、110番通報を受けたときの通信指令センターの働きとして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【110番通報のしくみ】

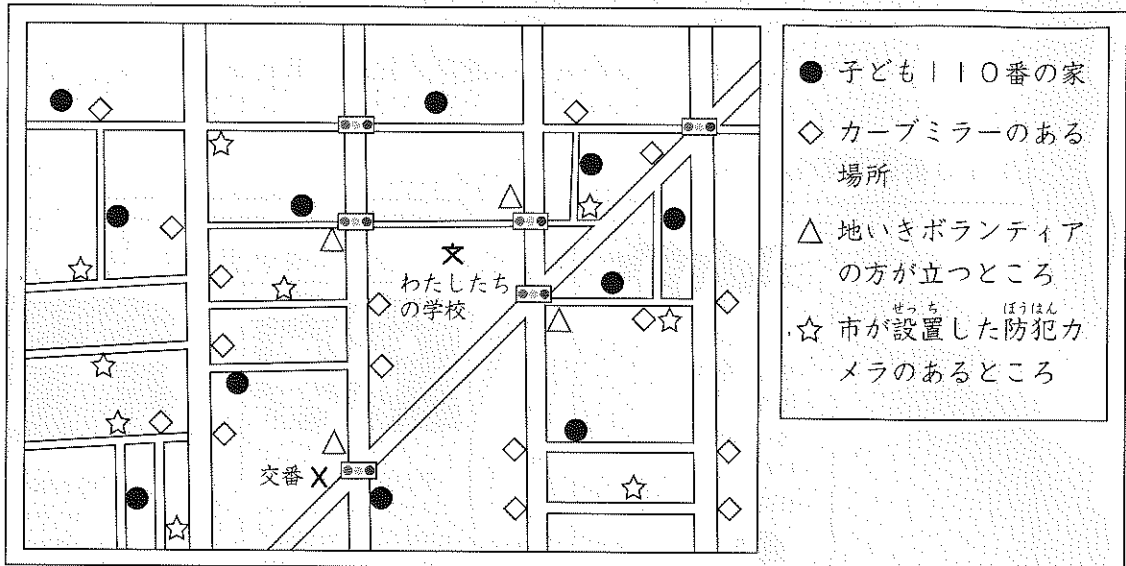


- ア 無線指令係が、どのパトロールカーを向かわせるかを決定している。
- イ しき台が、事故が起きた場所に向かう救急車に情報を伝えている。
- ウ 110番係が、事故が起きた場所に近いけい察しよや交番、パトロールカーに指示を出している。
- エ 110番係が、交通管制センターに情報を伝えている。

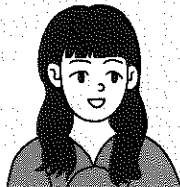
【観察・資料活用の技能】⑮

- (2) かよこさんは、地いきの安全を守る働きについて調べ、次の資料【^{しりょう}地いき安全マップ】を作っています。資料【**地いき安全マップ**】は、地いきの安全を守る働きの様子についてこれまでに分かっていることをまとめたものです。

【**地いき安全マップ**】



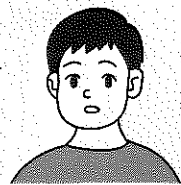
かよこさんとてつじくんは、資料【**地いき安全マップ**】を見ながら、自分たちが生活していく上で気を付けていくことについて考え、資料【**地いき安全マップ**】に書きこもうとしています。



かよこさん

カーブミラーは、細い道から自動車が通る道に出る場所にあるね。自動車がたくさん通る道や見通しが悪いところは、交通事故が起きやすい場所だからかな。

細い道で子ども110番の家がない通りには、防犯カメラがあるね。防犯カメラは、人があまり通らないような道に設置され、事件を防ぐことに役立っているのかな。



てつじくん

かよこさんとてつじくんは、自分たちが考えたことをさらにくわしく調べる計画を立てています。かよこさんとてつじくんが調べることで最もふさわしいものを、次のアからエまでの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えましょう。

ア 地いきボランティアの方は、どのような役わりを果たしているのかについて、市役所に行って話を聞く。

イ 防犯カメラを設置する場所は、どのように決められているのかについて、市役所に行って話を聞く。

ウ 自転車に乗るときのルールには、どのようなものがあるのかについて、交番に行って話を聞く。

エ 地いきで起きた交通事故は、どのような場所で起きているのかについて、交番に行って話を聞く。

【社会的な思考・判断・表現】⑩

7 けいたくんの学級では、A県B市のまちづくりについて調べることになり、B市役所で働くXさんにインタビューをしました。次の資料【Xさんの話】と、下の資料【Xさんからもらった資料】をもとに、あとの(1)と(2)の問題に答えましょう。

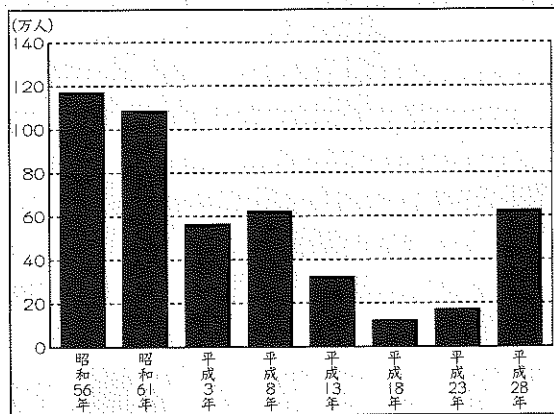
【Xさんの話】

B市では、昔から市内のP地区が観光地としてとても有名でした。B市の観光課では今、P地区のにぎわいを取りもどしたいと考えています。

P地区では、昔からZ石が多くとれており、Z石を利用した大きな仏像や、さいくつ場(石を切り出す場所)から出ためずらしい形の岩を見るために多くの観光客がおとずれていました。また、Z石は、軽くて運びやすく、加工がしやすいなどの持ちようがあるため、建物の材料として、教会などたくさんの建物に使われてきました。しかし現在、Z石は昔ほど使われなくなり、以前は250か所ほどあったさいくつ場は、現在では8か所に減っています。

【Xさんからもらった資料】

ア B市P地区への観光客数の変化



イ B市以外でZ石が使われている建物

場所	建物の種類
C市	レストラン, 結こん式場
D市	ホテル, レストラン
E市	市立文化会館, 美術館
F市	公園, 教会, 結こん式場
G市	博物館, 駅
H市	酒屋(倉庫), レストラン
I市	寺, ゴルフ場

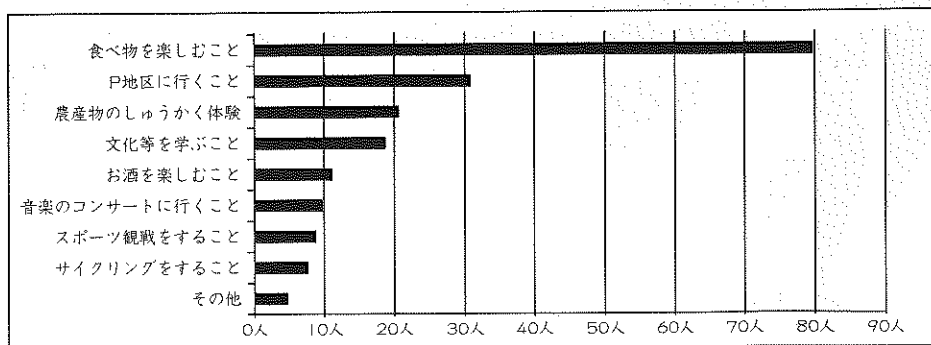
ウ B市P地区でとれるZ石の生産量とじゅう業員数

年	生産量(トン)	じゅう業員数(人)
昭和48年	890,000	1,765
平成25年	16,900	108

エ B市でZ石が使われている建物

場所	建物の種類
B市	教会, ようち園, レストラン, 美術館, 公園, 病院, 博物館, 寺, 市立教育センター

オ B市をおとずれた観光客に聞いた、B市の観光で興味があること(複数回答)



(1) けいたくんは、前のページの資料【Xさんの話】の中にある「P地区のにぎわいを取りもどしたい」という言葉に興味をもち、「昔は、多くの観光客がおとずれていたのか」について調べることにしました。このことを調べるための資料として最もふさわしいものを、前のページの資料【Xさんからもらった資料】のAからオまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【観察・資料活用の技能】⑰

(2) けいたくんの学級では、B市での取り組みの中で、P地区でのイチゴづくりについて調べています。次の資料【A県の各市におけるイチゴのしゅうかく量】、【A県でイチゴがとれる時期】、【Yさんの話】をもとに、B市のP地区でイチゴづくりを始めた理由として最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【A県の各市におけるイチゴのしゅうかく量】

市	しゅうかく量(トン)
B市	6
C市	2,730
D市	1,310
E市	1,850
F市	1,080
G市	8,300
H市	1,240
I市	1,621
J市	1,600

【Yさんの話】

わたしは、B市P地区のにぎわいを取りもどすための取り組みを行う会社につとめていて、さまざまな人々と協力しながら、さいくつ場のあと地を利用した取り組みを行っています。

例えば、さいくつ場の冷たい地下水を利用した、夏にとれるイチゴづくりに取り組んでいます。P地区の農家の人と協力して、6月から10月の間にイチゴをしゅうかくし、出荷できるようになりました。これからもっと多くのイチゴづくりを進め、B市の名物となるようにしていきたいと思っています。

【A県でイチゴがとれる時期】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
B市以外の市	■	■	■	■	■							■
B市P地区						■	■	■	■	■		

■ イチゴがとれる時期

- ア B市では、他の市に比べてイチゴづくりがさかんではないが、B市以外の市の地下水を利用することで、A県内の他の市と同じ時期に、イチゴがとれるから。
- イ B市では、他の市と同じくらいイチゴづくりがさかんだが、B市P地区の地下水を利用することで、A県内の他の市ではとれない時期に、イチゴがとれるから。
- ウ B市では、他の市に比べてイチゴづくりがさかんではないが、B市P地区の地下水を利用することで、A県内の他の市ではとれない時期に、イチゴがとれるから。
- エ B市では、他の市に比べてイチゴづくりがさかんではないが、B市P地区の地下水を利用することで、A県内の他の市と同じ時期に、イチゴがとれるから。

【社会的な思考・判断・表現】⑩